

大阪の芸術家・伊吹さん家族

制作が終盤迎える

まなみーる 12日から作品展示

【岩見沢】大阪府枚さん(42)と、妻で陶方市在住の画家伊吹拓一芸家の尚子さん(44)、



長男の音くん(9)が市内に滞在しながら7月25日～8月11日まで作品制作する「アーティストファミリーレジデンスIN岩見沢(実行委主催)が終盤を迎えた。3人はまなみーるで仕上げ作業に入っている。

拓さんは対角線の長さが360㎝、180㎝のひし形パネル9枚と、縦170㎝、横90㎝のアクリル板17枚の表面に、ゴムべらや刷毛で油絵の具を塗って色合いや質感のそれぞれ異なる抽象画を制作。尚さんは岩見沢

で見た花や鳥などの絵をあしらった陶器約40点を作り、音くんも絵を描いている。

8月6日までは栗沢町上幌の上幌集会所、7日からはまなみーる展示室をアトリエとして利用。連日、授業の

一環でアトリエを訪れる道教育大岩見沢校の学生らと交流しながら作品を制作している。拓さんは「マラソンで言えば残り5キロ。この絵と一緒にいい形でフイニッシュを迎えたい」と意気込む。

作品は、まなみーるを美術館に見立て、広さ840平方メートルのエンランスロビーに12日から月末まで展示する。ひし形パネルは壁面に、アクリル板は2階の窓にそれぞれ設置。尚さんの陶器や

企業が20ブースを出展

小学生が職業体験

【岩見沢】夏休み中の小学生を対象にした職業体験イベント「キッズジョブコレクション2019」が、この

ほど、イオン岩見沢店で開かれた。子どもたちが体験を通して地元職業の魅力に触れた写真。

音くんの絵は、市民の作った陶器や岩教大生の描いた絵とともに壁



面の前に並べる予定。観覧無料。
【末永直樹】

地元にある仕事に興味を持ってもらおうと岩見沢商工会議所青年部(芳賀智一会長)が主催し初めて実施。市内の企業など10の

が参加した。子どもたちは、整体師やパティシエなど興味のある仕事を1人最大4ブースで体験。大工のブースでは、木材でいす作りに取り組んだ。新聞記者を体験した南小1年の植田己愛さんは「文才が鈍った